

官民連携事業研究所は、地域が抱える課題に応じて、自治体と企業の連携を促進し、官民連携政策の立案をすることを得意としています。

■ タイトル：行政デジタル化における連携

■ 連携団体

株式会社時空テクノロジーズ

■ 自治体の地域課題

行政デジタル化（難聴者とのコミュニケーション等）

■ 支援に至った経緯

議事録作成の時間を大幅に短縮でき、ボタン一つで簡単に扱える気軽さから、自治体職員のDX導入の敷居を下げられる可能性も高く、有用なツールとして全国の自治体へ導入すべく、支援を開始しました。

■ 支援期間

2021年12月～現在

■ 支援内容

AI文字起こしツール「ログミーツ」の全国の自治体への導入支援およびDX推進支援

■ 支援の成果

全国で250以上の自治体に正式に導入が進んでおり、高知県宿毛市など実証実験も数多くの自治体で行われている。また、難聴者や高齢者のコミュニケーションを支援する『Logmeets for 福祉』を開発。大阪府柏原市や兵庫県三木市などの自治体と連携協定を締結し、全国の自治体への導入を進めている。

時空テクノロジーズ、奈良県川西町と「行政デジタル化における地域住民の利便性の向上に関する連携協定」を締結、AI文字起こし『ログミーツ』で難聴者とのコミュニケーションをサポート

奈良県川西町 × 株式会社時空テクノロジーズ

健康・福祉 デジタル化・DX

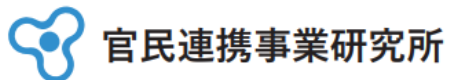


川西町では、住民サービスの課題の一つとして窓口や訪問先での住民の方、特に高齢による難聴者や聴覚障害者の方との会話は、正確に意思を伝えあうのに時間がかかることがあり、もっと円滑に意思疎通を行える方策を検討していました。

そこで、全国の自治体でAI文字起こしサービス「ログミーツ」で多数の導入実績がある株式会社時空テクノロジーズと共同で、主に福祉の現場での利用方法の調査、実証を通じて課題解決に向けた取り組みを行う連携協定を締結することになりました。

福祉版ログミーツは奈良県川西町のほか、兵庫県三木市にも導入しており、今後全国の自治体へ普及を拡げていきます。

<この事例を支援した伴走支援事業者>



依頼・相談はこちらから！

株式会社 官民連携事業研究所

<https://p4rl.com/>